

令和5年度第5回南外地域協議会会議録

令和6年2月29日

南外地域協議会

令和5年度第5回南外地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■協議	2
1) 令和5年度地域枠予算の実績報告について	3
2) 令和5年度南外地域「彩色千輪プロジェクト」の実績報告について	6
■閉会	10
■署名	10

令和5年度 第5回南外地域協議会 会議録

■日 時：令和6年2月29日（木） 18時00分

■会 場：南外コミュニティセンター

■出席委員： 11名

伊 藤 伝 悦、 伊 藤 悠、 伊 藤 真紀子、 加 賀 正 夫、
風 口 宏 子、 今 野 徹、 佐 渡 敏 夫、 佐 藤 喜八郎、
佐 藤 正 行、 進 藤 覚、 相 馬 静 華、

■欠席委員： 3名

伊 藤 正 人、加賀屋 由 香、高 寺 衛

■出席職員： 6名

○南外支所職員

久米 啓之（支所長）	堀井 みわ子（市民サービス課長）
佐藤 和好（農林建設課長）	佐藤 マキ（公民館長）
木村 慎吾（地域活性化推進室主幹）	菊地 明憲（地域活性化推進室主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - ①令和5年度地域枠予算の実績報告について
 - ②令和5年度南外地域「彩色千輪プロジェクト」の実績報告について
- 4 その他
- 5 閉 会
- 6 署 名

(18時00分 開会)

○木村地域活性化推進室主幹（以下「地域活性化推進室主幹」と表記）

皆さま、本日はお忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。

ただいまから「令和5年度第5回南外地域協議会」を開会いたします。

開会にあたり、佐藤会長からご挨拶を頂戴いたします。

○佐藤正行会長（以下「会長」と表記）

皆さんこんばんは、本日は今年度最後の地域協議会でお忙しいところ、ご参会いただきまして、誠にありがとうございます。今年の冬は、暖冬で本当に楽をさせていただいておりますけれども、雪に関係する仕事を生業にしている方は、大変な思いをしておられることと思います。

いずれにせよ、寒い冬にせよ、暖かい冬にせよ健康には十分に注意して雪解けの春を待ちたいというふうに思います。皆さんもどうか健康に十分に注意しながら、冬を越していただければというように思います。

さて、今週の土曜日3月2日、大仙アカデミーという講演会がございますし、聞くところによると婚活&いちご狩りという事業が大仙市南外で南外公民館と秋田農販さんのいちごハウスを会場に婚活パーティを行うということを聞いております。地元南外でやっていただけるということは、南外のPRにもなりますし、活気づくのかなと思っております。うれしい話にもう一つ、先日、大仙市スポーツ賞の表彰が行われまして、長年の功績が認められ佐渡副会長が功労賞で表彰されております。本当におめでとうございます。地元南外として、本当にうれしい話でございます。そういう嬉しい報告が続くように願っているところです。今日の協議会もよろしく申し上げます。

○地域活性化推進室主幹

ありがとうございました。

それでは議事に入らせていただきます。

本日の出席予定委員数は11名で、現時点で9名の方が出席されています。既に過半数に達しておりますので、本会議は成立することをご報告いたします。

本日の議題は、その他を含めまして3件であります。また、会議録作成のため録音させていただきますことを、あらかじめお断り申し上げます。

なお、ご発言の際は挙手の上、会長の指名を受けてからお願いいたします。

それでは、議事の進行は佐藤会長にお願いいたします。

○会長

それでは、協議会を始めます。

議題に入る前に、本日の議事録署名委員を指名します。

今野徹 委員と伊藤悠 委員にお願いいたします。

それでは、議事を進めてまいります。議題①「令和5年度地域枠予算事業の実績報告」

について、事務局より説明をお願いいたします。

○菊地地域活性化推進室主査（以下「地域活性化推進室主査」と表記）

【資料説明】

◇令和5年度地域枠予算事業に関する報告について

（地域枠予算事業説明書及び令和5年度地域枠予算執行状況一覧 参照）

■第9回南外小唄まつり（市民主導型）

事業費：298,500円（地域枠予算：内236,520円）

時期：令和6年3月3日（日）午後1時から

目的：南外地域で長い間唄い継がれてきた南外小唄の伝承と普及を図りながら、地域を活性化するとともに、地域住民に潤いと生き甲斐を与えること。

■南外地域桜守り事業（行政主導型）

事業費：398,200円

期間：令和6年3月1日から3月22日まで

目的：南外ふれあいパークでの桜まつりの継続開催など、市民が桜の観賞を楽しみ、集える場となりうることで、元気な地域づくりに資すること。

■令和5年度地域枠予算執行状況一覧

総実績額：6,448,004円（未完事業を含む為、額変更の可能性有）

総事業数：22事業

型別内訳：I型 行政主導型 1,638,362円（7事業）

II型 市民協働型 2,276,122円（7事業）

III型 市民主導型 1,063,520円（7事業）

地域イベント型 1,470,000円（1事業）

○会長

ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたら挙手の上、発言をお願いします。

○伊藤伝悦委員

南外小唄まつりに県外から出場される方ですが、地元出身の方ですとか地元の民謡団体に所属しているなどの理由で今回出場されるのでしょうか。

○佐藤公民館長（以下「公民館長」と表記）

今回県外からは2名、新潟県の方が出場されますが、どちらも南外に所縁のある方ではなく、秋田市の民謡団体に所属されており、その伝手で今回出場されるということです。

大仙市外の方がたくさん出場されますが、ほとんどの方が南外とは所縁の無い方々です

けれども、南外小唄を覚えてくださって出場していただけるということです。

○伊藤伝悦委員

昨年の南外運動会の踊りを練習する時だったか、小学校にFMはなびが取材に来ていて、その時は民謡保存会の八嶋さんが唄っていましたが、取材に来ていた方が出来れば南外小唄まつりも見に来たいという話しをされていたので、地域外からもたくさん参加されるということでしたので、どんどん情報発信して県外からの出場者などが増えてくれば、地域の活性化にもなるのではないかと思います。

○会長

ほかに何かございませんか。

○佐藤喜八郎委員

今の伊藤委員から意見に関連して、南外小唄コンクールの優勝者の歌声とか映像を録音、撮影して、それを支所の入り口辺りなどに機材を置いて、来庁者の方がボタンを押せば唄声の流れたりとか、そういったことは出来ないものでしょうか。

○公民館長

コンクールに出場される方で優勝や上位になられる方は、プロではありませんが、それに近い形で活動されている方が多いので、そういった方の音声や映像を流すということは、難しいかもしれませんが、実行委員会へご意見を持ち帰って検討させていただきたいと思います。

○佐藤喜八郎委員

FMはなびから取材していただいて、事業の報告とか成果を発表してもらえば大変良いのではないかと思います。

○伊藤伝悦委員

要望があれば、FMはなびにコーディネートしますので声を掛けてください。

○会長

ほかに何かございませんか。

○佐藤喜八郎委員

令和5年度の地域予算の実績報告の資料ですが、事業名だけでなく実施日や期間を加えることは出来ないでしょうか。その方が分かりやすいような感じがします。

○地域活性化推進室主査

次回から事業一覧を作成する際は、日程を加えたものを提供したいと思います。

○会長

ほかに何かございませんか。

○加賀正夫委員

地域枠予算の檜岡城を守る会の補助金が146,000円となっておりますけれども、もっと多くなってもいいのではないのでしょうか。私も会員として活動しておりますけれども、活動費の個人負担があるので、予算を増やすことで個人の負担を減らせないかと思うのですがどうでしょうか。

○地域活性化推進室主査

檜岡城を守る会の補助金については、以前より会員個人の金銭的負担を減らせないかというご相談を受けておりました。令和6年度予算が現在審議中ですので、確定していませんが、そういったことも踏まえて来年度の檜岡城を守る会の予算については、補助金型ではなく、Ⅱ型の市民協働型で予算要求しており、こちらで予算が確定すれば会員の皆さんからは引き続き労務のご協力はいただきますが、会費などの個人の金銭的な負担は解消される予定です。

○伊藤伝悦委員

説明を受けた事業の中で、「河川支障木伐採事業」、「南外地域活性化支援協議会活動補助事業」、「クリスマスパーティ in 南外」ですが、今年に関しては申請が無くて実施していないということでしたが、今まではコロナ禍で休んでいたという事業もあると思います。こういった事業で関係者への周知はされていますか。クリスマスパーティなどは、以前開催していたときは、大変盛りあがっていたのでこのままやらなくなるのは残念だなという思いもありまして、周知されているのかなという確認でした。

○地域活性化推進室主幹

「河川支障木伐採事業」については、南外の河川環境を守る会という南外建設業協会に所属している団体などが中心になって組織しているボランティア団体と協力して行う事業で、そちらの団体が自発的に地域内の河川に影響があるような支障木を伐採するという活動になります。その実施団体の都合のため、今回は実施できなかったということです。

「南外地域活性化支援協議会活動補助事業」については、声掛けはしておりますが、今回は申請がございませんでしたの実施しておりません。

「第5回クリスマスパーティ in 南外」ですが、こちらはコロナ禍の直前まで過去4回実施している事業になりますが、コロナ禍を経てメンバーの出入りもあり、今年度に関してもコロナ禍も明けたので実施するという話もありましたが、メンバー集めが難航したた

めに見送りになったという経緯があります。実行委員会の代表の方とお話をしていますが、代表の方としては、節目の第5回までは継続させたいという気持ちをお持ちですが、現状メンバーが不足しているという状況の中では開催することは難しいと思いますので、一旦仕切り直しをしたうえで、開催に向けて検討していきたいという考えであると伺っております。

○伊藤伝悦委員

賑やかなイベントなので、楽しみにしております。

○会長

ほかに何かございませんか。無いようですので、ここでこの議題に関する話し合いを終わりたいと思います。続きまして議題②の「南外地域『彩色千輪プロジェクト』の実績報告」について事務局より説明をお願いします。

○地域活性化推進室主幹

【資料説明】

◇南外地域「彩色千輪プロジェクト」の実績報告について

(令和5年度「南外地域彩色千輪プロジェクト」事業実績及び

なんがい支所だより2024年4月増刊号案 参照)

令和5年度事業実績をご覧ください。こちらの資料をもとに説明させていただきます。こちらの資料につきましては、これまでの協議会の中で進捗状況を説明させていただきましたが、中には異論がある事案も含まれているかもしれませんが、ご覧のとおり令和5年分に予定していた事業に関しては、全て取り組んだという結果で今は動いている状況です。

令和5年度事業に関しては、全て地域枠予算を使って実施しておりますので、先程の地域枠予算事業の説明の中で、彩色千輪プロジェクトの概要につきましては、説明しておりますので、私の方からは前回の地域協議会から今回までの間に実施した事業について説明させていただきます。

今回は、資料の中から2つの事業について説明させていただきますが、初めに「子どもからお年寄りまで元気で安心な南外」、その内の世代間交流サロンの実施について説明させていただきます。

■事業実績（令和5年度）

【地域の拠点 健康サロン開催事業】

○地域活性化の方向性：子どもからお年寄りまで元気で安心な南外

南外さいかい市、大仙市社会福祉協議会、大仙市南外支所3者の連携事業で、南外ふるさと館を会場に毎月1回実施。65歳以上の地域住民を対象にした健康運動や健康体操、健康に関する講話などを実施し後半は、参加者全員で茶話

会を行うなど、心身の健康増進を目的にした事業です。(参加者は各回平均で15人程度)令和6年1月に実施した健康サロンは、小中学校が冬休み期間ということもあり、地域の小学生を交えた会を実施しました。内容は、秋田市で作業療法士として、「eスポーツ」を導入し活動されている若狭利伸氏を講師に迎え、「eスポーツ」を通じて、地域子ども達と高齢者との世代間交流の機会を作りました。

【拠点3施設合同事業】

○地域活性化の方向性：自立してコンパクトな南外

昨年11月に「みんなのきよてんまつり」(前会議時に説明済み)、今年2月に「ふゆのきよてんまつり」の2回実施。2月18日の「ふゆのきよてんまつり」は、南外さいかい市が例年実施していた冬まつりの内容を拡充しての実施となり、南外ふるさと館を会場に開催しました。メインイベントとして、南外ふるさと館大広間を舞台にブラボー中谷さんのマジックショーを実施し、大広間が満席となり立ち見客が出るほどの賑わいとなりました。また、マジックショー終了後には、プレゼント抽選会を行い、こちらは南外さいかい市で500円以上の買い物をされた方と南外ふるさと館で入湯券をお買い上げされた方を対象に抽選券を配付し、地元の秋田清酒株式会社や神岡地域の東北醤油株式会社、南外ふるさと館指定管理者の厚生ビル管理株式会社、南外さいかい市の協賛品が当選された21名の来場者の方に贈呈されました。南外ふるさと館2階では、レトロゲームコーナーやフリーマーケット*のほか、南外地域で撮影された昔懐かしい映像や大雨災害の記録動画を使ってミニ上映会を実施しました。

ミニ上映会については、今年度予算では購入費用を確保できず機材を準備できませんでしたでしたが、昨年8月、東北地方郵便局長会仙北中央部会のご厚意により寄贈いただき機材の準備が整ったため、実施することが出来ました。上映会には、昔懐かしい映像を目当てに来場された方もおり、一定の成果があったものと思われまます。一方でフリーマーケットについては、イベントチラシやSNS等で発信しましたが、今回も市民からの出店者が集まらず支所職員の協力のもと実施しておりますが、市民の方が参加しやすいように周知方法等も含めて検討していきたいと考えております。

また、当日は南外ふるさと館の指定管理をしている厚生ビル管理株式会社の自主事業として、山菜汁やおにぎりの販売を行っております。当日の入湯者数については、目に見えて増えたということではなかったということでしたが、イベント自体は盛況に行うことが出来ましたので、一定の成果はあったものと思われまます。

南外さいかい市の売り上げに関しては、昨年の冬まつりと比べると倍以上の売り上げだったと伺っております。

今回のイベントに関しては、支所職員は支所長を含めて4人と少人数での実

施となりましたが、予定どおりスケジュールを消化することができました。

レトロゲームコーナーやフリーマーケットに関しては、子育て世代をターゲットに企画したものでしたが、秋に続いて集客数が伸びなかったと感じており、拠点3施設を使ったイベント運営に関しては来年度も続けていきたいと考えております。

来年度は、南外さいかい市が開店して5周年という節目でもありますので、今回の結果を検証しまして、より良いイベントとして継続していきたいと考えています。

【SDGs 実現に向けたひとづくり・まちづくりの推進】

○地域活性化の方向性：自然豊かで人が集まる南外

*上記【拠点3施設合同事業】に集約してフリーマーケットを実施。説明省略。

○会長

はい、ありがとうございました。ただいまの説明について、ご質問やご意見がありましたら挙手のうえ、ご発言をお願いいたします。

○佐藤喜八郎委員

ブラボー中谷のマジックショーを見に行った時に、観客が多くて大広間に入ることが出来なかったの、大きいモニターに映すとかそういうことは出来ないのでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

このイベントに関しては、拠点3施設を上手に使っていくという目的がありましたので、ブラボーさんと呼ぶということで、大広間の容量に心配もありましたが、佐藤委員の話しのおり、大広間の収容数を上回るような状況でした。秋に実施した「みんなのきよてんまつり」の際は、民俗資料交流館でNHKのど自慢の出場者を招いてのステージでしたが、その時は、座席数を30席から40席準備しましたが、足りなくなる可能性もあったため、屋外用のスピーカーを利用して、歌声などを屋外でも聞くことが出来るようにしました。

ブラボーさんのようなステージイベントの時も、モニターのようなものを設置するということも出来なくはないと思いますが、機材の調達に費用も掛かることになるかと思しますので、貴重な意見として今後のイベント運営に活かしていきたいと考えています。

○佐藤喜八郎委員

はい、ありがとうございました。フリーマーケットを私、覗いてみたんですけども、時間帯にもよると思うんですが、ほとんど人がいないようでした。あんまり売れなかったのではないですか。部屋も暗くて、音楽も無くて、出品数はそれなりにあったんですけど。イベント前にネットとか、写真とかでも紹介できればもっと集客できるのではないかと、そんな思いを持ちながらみてきました。

○地域活性化推進室主幹

フリーマーケットの売り上げに関しては、前回「みんなのきよてんまつり」の際は、2,500円です。今回のフリーマーケットについては、3,000円ちょっととなっておりますが、お客さんの入りに関しては、時間帯によってはあまり人がいないようなこともあったので、次回以降の課題になるかと思えます。会場が暗かったという指摘についてですが、今回、上映会を同じスペースで実施しておりますが、スクリーンを設置している会場の黒板側を遮光カーテンを使って暗くしないと、プロジェクターから投影された映像が見えなかったという事情があります。当日は、天気も大変良かったため部屋を暗くしないと見えなかったということです。販売方法、呼び込みの部分に関しては、今回も住民からの申込期限を直前まで見ていた関係で、イベント直前まで商品が集まらなくて、急遽職員の皆さんから協力していただいたということもあって、ある程度商品を集める期間を長めにとれば、商品の画像をSNSに掲載して、こういう物が販売されますということを周知できれば、足を運んでいただけるお客さんも増えるかもしれませんので、それに関しては工夫していきたいと思えます。ただ、併せて事業実績の「子どもからお年寄りまで元気で安心な南外」の中にあるSNSの利活用という事業で、X(旧ツイッター)アカウントを開設して約1年以上経っていますが、フォロワー数が約20人という状況ではありますが、インターネット等を工夫して情報発信していきたいと考えています。

○佐藤喜八郎委員

来年度のきよてんまつりについては、詳しく決まっているものでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

方向性としては、拠点3施設の利活用が進んでおりますので、拠点3施設を利活用したイベントを実施する方向で考えておりますが、中身についてはこれからとなっております。

○佐藤喜八郎委員

それに関して、地域枠予算で「もぐらの会」出てきてますけれども、聞くところによると「もぐらの会」では、ふるさと館の上の森林公園、キャンプ場を活用しながらやってみたいという、非常に若い人たちががんばるような機会が増えているわけですが、そういった声があれば、取り入れていくのでしょうか。

○地域活性化推進室主幹

地域枠予算執行状況一覧の下の方に、「地域の拠点」利活用新規事業枠があります。これは、拠点利活用をしていく団体向けの補助金を想定していたんですけれども、もぐらの会の事業として、3拠点周辺施設ということで、キャンプ施設と周辺を使った野外音楽イベントを出来ないかという相談も受けておりますが、具体的な話がまだ決まっていないこともありますので、団体と協議を続けながら、そういった機会も増やしていきたいというように考えています。

○佐藤喜八郎委員

わかりました。

○会長

ほかにご質問やご意見はございませんでしょうか。無いようですので、その他に入ります。はじめに、事務局から説明があるとのことですので、

説明をお願いします。

○地域活性化推進室主査 ※その他、協議事項外のため資料説明のみ

◇大仙市ふるさと納税について（大仙市ふるさと納税寄附金活用事業報告 参照）

○会長

そのほかにご質問やご意見はございませんでしょうか。無ければ、この辺で本日の会合を終わりたいと思います。冒頭でも申し上げたとおり、令和5年度の地域協議会は本日で終了というふうになります。令和6年度第1回目の会合につきましては、後ほど事務局を通じてお知らせします。

これをもちまして、令和5年度第5回南外地域協議会を閉会します。

（19時30分 閉会）

南外地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

伊藤 悠

今野 徹
